

令和7年度病害虫発生予報第12号

長崎県病害虫防除所長

向こう1か月間における主な病害虫の発生動向は次のように予想されます。

【予報の概要】

農作物名	病害虫名	発 生 程 度	
		現 況	予 想
麦 類	うどんこ病 赤かび病 (防除情報第6号)	並 —	並 並
ばれいしょ	疫病 アブラムシ類	並 並	並 やや多
きゅうり	べと病 うどんこ病 褐斑病 灰色かび病 ミナミキイロアザミウマ コナジラミ類	やや多 やや少 少 並 少 やや多	やや多 やや少 少 並 やや少 やや多
トマト	黄化葉巻病 灰色かび病 コナジラミ類 (防除情報第7号)	やや多 少 やや多	やや多 少 やや多
いちご (本圃)	うどんこ病 灰色かび病 アブラムシ類 ハダニ類 アザミウマ類	並 並 やや多 やや少 やや少	並 並 やや多 並 並
たまねぎ (早生)	べと病 白色疫病 ネギアザミウマ	やや少 並 やや少	やや少 並 並
かんきつ	そうか病  かいよう病  ミカンハダニ	並 (越冬病斑) 並 (越冬病斑) 並	並  並  並
果樹共通	カメムシ類 (防除情報第8号) クワゴマダラヒトリ	やや多 少	やや多 少
茶	カンザワハダニ クワシロカイガラムシ	少 少	やや少 少

【発生予報】 本文の ( ) 内は平年値

麦 類

1. うどんこ病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 3月前期の巡回調査(大麦9筆、小麦15筆)の結果、大麦・小麦のいずれも発生を認めなかった(大麦：過去10か年平均 発病茎率0.0%、発生圃場率1.1%、小麦：過去10か年平均 発病茎率0.0%、発生圃場率0.7%)。

イ 3月3半旬の県予察圃場(無防除、諫早市)調査の結果、発生を認めなかった

(発生を認めない)。

ウ 向こう1か月の降水量は平年並か少ない見込みである。

## 2. 赤かび病

令和8年3月18日付け**病害虫発生予察防除情報第6号**による。

ばれいしょ

### 1. 疫病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(21筆)の結果、発生を認めなかった(発生を認めない)。

(3) 防除上注意すべき事項

発生を認めてからの薬剤散布は効果が劣るため、ジャガイモ疫病初発時期予測システム(FLABS-N)による初発時期および防除開始時期を参考に適期に防除を行う(ホームページおよびSNS情報を参照)。

### 2. アブラムシ類

(1) 予報内容：発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

ア 3月前期の巡回調査(21筆)の結果、寄生株率は0.8%(0.4%)、発生圃場率は19.0%(8.9%)であった。

イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

きゅうり

### 1. ベと病

(1) 予報内容：発生程度 やや多

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(6筆)の結果、発病葉率は17.5%(6.3%)、発生圃場率は66.7%(45.7%)であった。

### 2. うどんこ病

(1) 予報内容：発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(6筆)の結果、発病葉率は1.3%(4.8%)、発生圃場率は16.7%(57.8%)であった。

### 3. 褐斑病

(1) 予報内容：発生程度 少

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(6筆)の結果、発生を認めなかった(発病葉率 0.1%、発生圃場率 2.2%)。

### 4. 灰色かび病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査(6筆)の結果、発生を認めなかった(発病果率 0.0%、発生圃場率 1.1%)。

### 5. ミナミキイロアザミウマ

- (1) 予報内容：発生程度 やや少
- (2) 予報の根拠
  - ア 3月前期の巡回調査（6筆）の結果、発生を認めなかった（寄生葉率 2.6%、発生圃場率 31.7%）。
  - イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

## 6. コナジラミ類

- (1) 予報内容：発生程度 やや多
- (2) 予報の根拠
  - ア 3月前期の巡回調査（6筆）の結果、寄生葉率は7.2%（1.4%）、発生圃場率は50.0%（25.3%）であった。
  - イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。
- (3) 防除上注意すべき事項
  - ア タバココナジラミが媒介する退緑黄化病の発生が多い状態（3月前期巡回調査結果 発病株率 36.8%、発生圃場率 100%）が続いており、次作に持ち込まないよう防除対策を徹底する。
  - イ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和7年長崎県病害虫防除基準P149～150の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の薬剤を連用しない。
  - ウ 栽培終了後は施設の開口部を密閉し、日中の室温50℃以上を1週間以上維持し本虫を死滅させ、施設外への分散を防ぐ。

## トマト

### 1. 黄化葉巻病

- (1) 予報内容：発生程度 やや多
- (2) 予報の根拠
  - 3月前期の巡回調査（9筆）の結果、発病株率は1.4%（0.3%）、発生圃場率は33.3%（14.9%）であり、一部多発圃場が見られた。

### 2. 灰色かび病

- (1) 予報内容：発生程度 少
- (2) 予報の根拠
  - 3月前期の巡回調査（9筆）の結果、果実での発生を認めなかった（発病果率 0.1%、発生圃場率 18.8%）。また、葉での発生も認めなかった（発病葉率 0.7%、発生圃場率 18.8%）。
- (3) 防除上注意すべき事項
  - ア 夜間は暖房機を断続的に稼働し、曇雨天日や気温が低い日もできるだけ換気を行いハウス内が多湿にならないような管理に努める。
  - イ 被害果等の発病部位や整枝等で除去した茎葉は伝染源となるので速やかにハウス外へ持ち出し適切に処分する。
  - ウ 予防的な薬剤防除に努め、特に曇雨天が続くことが予想される場合は徹底する。
  - エ 薬剤耐性発達防止のため、同一系統（令和7年長崎県病害虫防除基準P162～164の「作用機構による分類（FRAC）」参照）の薬剤を連用しない。

### 3. コナジラミ類

令和8年3月18日付け 病害虫発生予察防除情報第7号による

## いちご

### 1. うどんこ病

- (1) 予報内容：発生程度 並
- (2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査（26筆）の結果、葉および果実での発生を認めなかった（発生を認めない）。

## 2. 灰色かび病

- (1) 予報内容：発生程度 並  
(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査（26筆）の結果、発病果率は0.0%（0.1%）、発生圃場率は30.8%（16.8%）であった。

- (3) 防除上注意すべき事項

- ア 夜間は暖房機を断続的に稼働し、曇雨天日や気温が低い日もできるだけ換気を行いハウス内が多湿にならないような管理に努める。  
イ 被害果等の発病部位は伝染源となるので見つけしだい取り除き、ビニール袋等に密閉してハウス外に持ち出し処分する。  
ウ 収穫終了後の果梗枝は伝染源となるので早めに取り除く。  
エ 予防的な薬剤防除に努め、特に曇雨天が続くことが予想される場合は徹底する。  
オ 薬剤耐性発達防止のため、同一系統（令和7年長崎県病害虫防除基準P179～181の「作用機構による分類（FRAC）」参照）の薬剤を連用しない。

## 3. アブラムシ類

- (1) 予報内容：発生程度 やや多  
(2) 予報の根拠

ア 3月前期の巡回調査（26筆）の結果、寄生株率は2.2%（0.9%）、発生圃場率は34.6%（13.6%）であり、一部多発圃場が見られた。  
イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

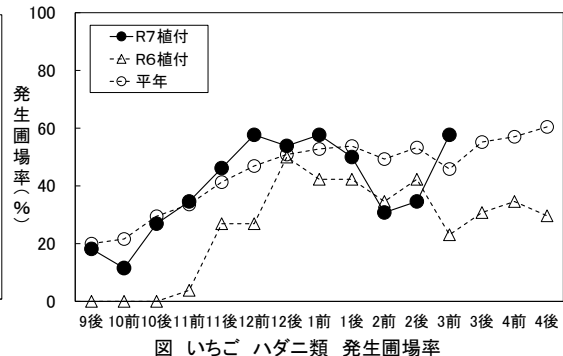
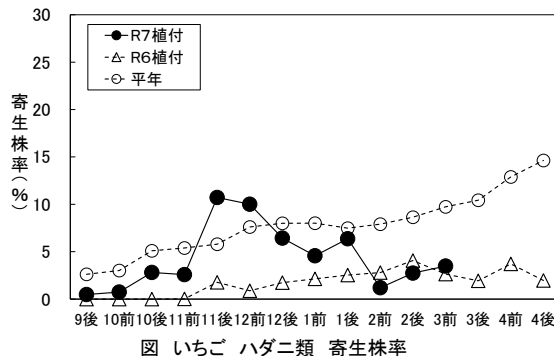
- (3) 防除上注意すべき事項

- ア 新葉、がく部、新芽部に寄生しているので圃場をよく観察し、早期発見、早期防除に努める。  
イ 薬剤の選定にあたっては、使用時期などラベルをよく確認し、ミツバチや天敵への影響を考慮する。  
ウ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和7年長崎県病害虫防除基準P182～183の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の薬剤を連用しない。  
エ 施設内及び施設周辺の雑草は、アブラムシ類の生息場所となるため除去し、環境整備に努める。

## 4. ハダニ類

- (1) 予報内容：発生程度 並  
(2) 予報の根拠

ア 3月前期の巡回調査（26筆）の結果、寄生株率は3.5%（9.7%）、発生圃場率は57.7%（45.9%）であった。  
イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。



- (3) 防除上注意すべき事項

- ア 早期発見、早期防除に努める。また、防除効果を高めるため薬剤散布前に古葉を除去し、薬液が葉裏に十分かかるよう丁寧に散布する。  
イ 薬剤の選定にあたっては、使用時期などラベルをよく確認し、ミツバチや天敵のカ

ブリダニ類等への影響を考慮する。

ウ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和7年長崎県病害虫防除基準P182～183の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の薬剤の連用を避け、薬剤感受性低下の恐れが少ない気門封鎖剤や異なる系統の薬剤によるローテーション散布を行う。

## 5. アザミウマ類

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

ア 3月前期の巡回調査（26筆）の結果、寄生花率は1.2%（2.2%）、発生圃場率は23.1%（42.5%）であった。

イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

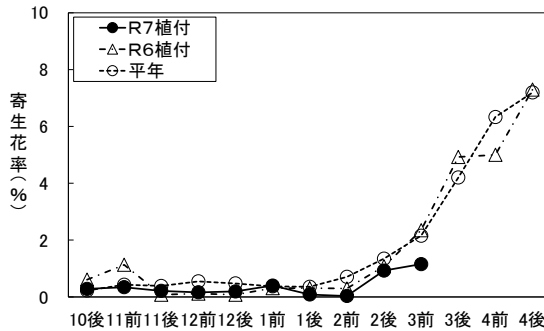


図 いちご アザミウマ類 寄生花率

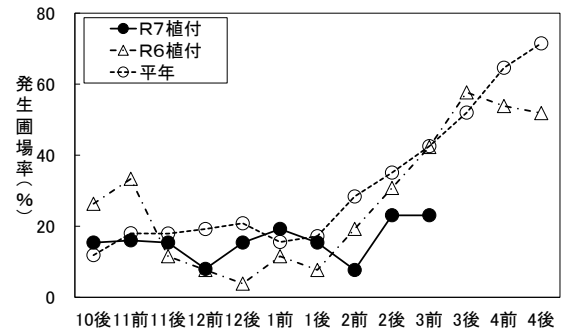


図 いちご アザミウマ類 発生圃場率

(3) 防除上注意すべき事項

ア 早期発見、早期防除に努める。

イ 薬剤の選定にあたっては、使用時期などラベルをよく確認し、ミツバチや天敵への影響を考慮する。

ウ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和7年長崎県病害虫防除基準P182～183の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の薬剤の連用を避ける。

## たまねぎ（早生）

### 1. ベと病

(1) 予報内容：発生程度 やや少

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査（16筆）の結果、発生を認めなかった（発病株率0.2%、発生圃場率32.7%）。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 本病は条件が整うと感染と発病を繰り返し急激に蔓延するため、今後の気象情報等に留意し、一次感染株の発生が見られる圃場では早急に薬剤散布を行う。また、発病が見られない圃場でも定期的な薬剤散布を行う。

イ 薬剤散布量が十分でないとな効果が低下するので、薬剤には展着剤を加用し、株全体が濡れるようむらなく散布する。

ウ 気象に基づく二次伝染推定モデルの判定結果は、病害虫防除所ホームページにおいて随時更新しているので参考にする。

### 2. 白色疫病

(1) 予報内容：発生程度 並

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査（16筆）の結果、発生を認めなかった（10か年平均発病株率0.0%、発生圃場率1.3%）。

### 3. ネギアザミウマ

- (1) 予報内容：発生程度 並
- (2) 予報の根拠
  - ア 3月前期の巡回調査（16筆）の結果、寄生株率は9.5%（14.1%）、発生圃場率は37.5%（55.1%）であった。
  - イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

## かんきつ

### 1. そうか病

- (1) 予報内容：発生程度 並
- (2) 予報の根拠
  - 3月前期の巡回調査（36筆）の結果、発病葉率（越冬病斑）は0.0%（0.0%）、発生圃場率は2.8%（2.4%）であった。

### 2. かいよう病

- (1) 予報内容：発生程度 並
- (2) 予報の根拠
  - 3月前期の巡回調査（36筆）の結果、発病葉率（越冬病斑）は1.7%（0.3%）、発生圃場率は22.2%（23.0%）であり、一部多発圃場が見られた。
- (3) 防除上注意すべき事項
  - ア 発病枝や葉を除去する。
  - イ 発芽前の薬剤散布は防除効果が高いので、銅水和剤（クレフノン加用）を散布する。

### 3. ミカンハダニ

- (1) 予報内容：発生程度 並
- (2) 予報の根拠
  - 3月前期の巡回調査（36筆）の結果、寄生葉率は2.3%（1.7%）、発生圃場率は38.9%（25.0%）であった。
- (3) 防除上注意すべき事項
  - 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和7年長崎県病害虫防除基準P318～320（みかん）、P324～326（かんきつ）の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の薬剤を連用しない。

## 果樹共通

### 1. カメムシ類

令和8年3月18日付け**病害虫発生予察防除情報第8号**による。

### 2. クワゴマダラヒトリ

- (1) 予報内容：発生程度 少
- (2) 予報の根拠
  - 令和7年10月に実施した産卵樹上（アカメガシワ、カラスザンショウ）における幼虫巢の発生調査の結果、発生を認めなかった（発生程度 0.0）。
  - ※以下の基準により発生程度を達観で調査した。
  - 調査基準：極多(5)、多(4)、中(3)、少(2)、極少(1)、無(0)

## 茶

### 1. カンザワハダニ

- (1) 予報内容：発生程度 やや少
- (2) 予報の根拠

ア 3月前期の巡回調査（12筆）の結果、寄生葉率は0.1%（1.2%）、発生圃場率は16.7%（25.7%）であった。

イ 向こう1か月の気温は高い見込みであり、本虫の発生に好適である。

(3) 防除上注意すべき事項

ア 一番茶の被害予防のため防除を徹底する。

イ 薬剤抵抗性発達防止のため、同一系統（令和7年長崎県病虫害防除基準P349～350の「作用機構による分類（IRAC）」参照）の薬剤を連用しない。

2. クワシロカイガラムシ

(1) 予報内容：発生程度 少

(2) 予報の根拠

3月前期の巡回調査（12筆）の結果、発生を認めなかった（寄生株率5.4%、発生圃場率34.5%）。

